

## 市町村指定文化財取材票 &lt;表&gt;

取材日	2023年	11月	26日	(記入者) 本井良明
取材参加者	石井	西田	東辻	松浦 (当会副理事長)
	宮本	本井	山口	
取材対象先	宇陀市：極楽寺の木造阿弥陀如来坐像			

所在地	宇陀市榛原篠楽150番地		
所有者(取材対応者)名	極楽寺 篠楽3班 ***様	連絡先 ***	
	(個人情報守秘)	PCアドレス	
取材申込	申込先・行政名など： 宇陀市教育委員会事務局文化財課 *** 様		
市町村指定文化財	彫刻 1 軀	木造阿弥陀如来坐像 1995(平成7)年4月25日指定	
	建造物 棟	名称(指定年月日)	
文化財指定理由	平安時代(12世紀)に制作されたものと推定され、当時の榛原の仏教文化の水準の高さを示すものである。		

## 文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	仏像が安置されている本堂内では「火」は絶対使わないようにしている。50mほど下に防火水槽があり、有事の際は、その水を使って地元消防団が初期活動を行う。	***様は有事の際は何としても本仏像だけは持ち出す、また、消火器の設置について話し合ってみると語っておられた。
獣害対策	被害の有無、対策など アライグマ、ハクビシン、鹿、猪、猿などが現れるが、本堂などには被害はない。	特になし。
保存～継承へ苦労と今後の課題と対策	宇陀市は2006(平成18)年に旧榛原町を含む4町村が合併して発足し、旧榛原町は明治時代の町制施行により「篠楽(ささがく)村」他11村が一緒になって発足した。また「篠楽村」は1883(明治16)年に極楽寺のあった極楽寺村と篠野村とが一緒になった。極楽寺はかつては大きな伽藍を誇った古刹であったが、その後退廃し明治時代には榛原萩原の宗祐寺の管轄下にもあった。現在は、篠楽村の流れをくむ地元において篠楽1班から4班(総数50戸程度)が組織され、このうち極楽寺の維持管理は篠楽3班(総数14戸)が担当している。篠楽3班の14戸が交代で月1回清掃等を行い、年1回(3月21日)涅槃講として集まっている。極楽寺の維持管理費用は篠楽3班の14戸が負担し、7年前には本堂の屋根の葺き替えを行った。今後大きな修繕等の費用の捻出が課題となる。なお、本像は1995(平成7)年の指定の際に解体修理を行い、漆箔の剥落止めのほか、欠損していた螺髪1個、左手第3指と第4指の指先、裳先を桧材で補足し復元している。	

## 取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

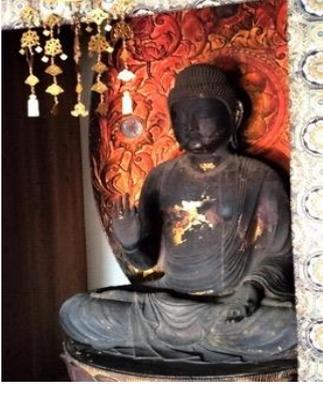
極楽寺は長年篠楽3班の方々の方が代々守ってこられた経緯がある。\*\*\*さんも極楽寺のすぐ近くに住んでおられることもあり、極楽寺や篠楽の歴史などを勉強されており、今後の保存継承に向けても篠楽3班の方々といろいろ話し合いもされている。1年を通して極楽寺に篠楽の方々が集まるのは3月の涅槃講と月1回の清掃の時であるが、今後もそれを篠楽3班で続けることにより極楽寺を守っていくという強い気持ちを感じた。

市町村指定文化財取材票〈裏〉

取材日	2023年	11月	26日	(記入者) 本井良明
取材参加者	石井	西田	東辻	松浦 (当会副理事長)
	宮本	本井	山口	
取材対象先	宇陀市：極楽寺の木造阿弥陀如来坐像			

(写真撮影許可済)

文化財指定名 木造阿弥陀如来坐像

文化財 (正面写真)	文化財 (角度を変えて、写真)
	

極楽寺全景

文化財上部

	文化財指定書	
		

文化財の由緒などを記入

本件仏像は来迎印を結んで結跏趺坐(けっかふざ)する80.5cmの仏像であり、構造は桧の一木造(割り矧(はぎ))で、頭体の幹部を一材より彫り出し、前後に割り矧ぎ、内刳(うちぐり)を施したうえ、頸を割放っている。現在古色で覆われているが、当初は漆箔仕上げであった。均衡のとれた体躯となだらかな肉付け、瞑想する穏やかな尊顔は、定朝様式の流れをくむものである。制作時期は平安時代(12世紀)と推定される。光背と台座は江戸時代の補作で、台座天板裏には貞享元年(1684年)の墨書銘がある。(1997年に榛原町が作成したパンフレットより)

所有社寺や地域(廃寺等)の歴史や特徴を記入

極楽寺の詳しい寺歴は明らかでないが、江戸時代の縁起によれば藤原冬嗣の孫の真海の創建と伝えられる。また宇陀郡史料によれば真海上人はこの地に七堂仏閣を建立、阿弥陀仏をもって本尊と為し真海上人が住職として天台密教の道場と為した。その後堂塔、本尊など落雷で焼失したが、恵心僧都が当地を訪れた時尊像を彫り極楽寺に安置された。古い記録に鎌倉時代に叡尊が当寺で授戒を行い、室町時代には興福寺の尋尊が室生寺参詣の帰路に立ち寄ったことが伝えられる。その後興福寺の末寺として近世を迎え明治時代には萩原の宗祐寺の管轄となった。